12月のイベントカレンダー

日	曜	行事予定
1	火	13:30　日本語サロン
2	水	15:00　理事会
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	休館日
7	月	休館日
8	火	13:30　日本語サロン
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	10:00 日本語ではなそう会
13	日	10:00 子ども日本語ひろば 13:30　オンラインちょい旅 “ゲームで楽しむドイツ旅”
14	月	休館日
15	火	13:30　日本語サロン
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	14:00　ノラの手しごとｺｰﾅｰ “クリスマス飾りを作ろう”
20	日	休館日
21	月	休館日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	13:30　情報紙発送作業
27	日	仕事納め
28	月	休館日
29	火	休館日
30	水	休館日
31	木	休館日

会津若松市国際交流協会
〒965-0871　会津若松市栄町2-14
レオクラブガーデンスクエア5階
TEL：0242-27-3703　FAX：0242-27-3704
Webサイト：http://awia.jp　メール：mail@awia.jp

「e-ワールド未来スクール」（中・高生対象）

JICA二本松と（公財）福島県国際交流協会では、福島県内の中学生と高校生を対象に、オンラインで国際協力・異文化理解に関する講座を実施します。詳しい内容や申込方法は、12月上旬にJICA二本松HPにアップしますので、ご確認の上お申込み下さい。

日　時　2020年12月19日（土）9:30～12:00
場　所　オンライン講座　（Zoomを使用）
対象者　福島県内の中学生・高校生
参加費　無料（定員30名（先着順））
内　容　国際協力・異文化理解に関する3つの講座（同日開催）
※申込方法等は12月上旬にJICA二本松Webサイトにアップします。
主　催　JICA二本松、（公財）福島県国際交流協会

JICA二本松　検索

イスラームを知ろう！日本人ムスリムの生活をのぞいてみよう

日本人ムスリム（イスラーム教徒）の生活に触れながら、イスラームを楽しく知りましょう。イスラームに入信して生活をしている日本人のお二人が、イスラームについて日本人が疑問に思う部分、理解しにくい部分を踏まえながらお話いたします。国際交流に興味のある方、グローバルな視野をもちたい方、どなたでもご参加いただけます。ぜひ、ご友人などお誘い合わせの上、ご参加ください。

主　催　一般財団法人青少年国際交流推進センター
共　催　宗教法人日本ムスリム協会
協　力　日本青年国際交流機構（IYEO）
日　時　2020年12月20日（日）10:00～12:00
会　場　オンラインセミナー（Zoom Meetingを使用）
募集人数　50名先着　　参加費　1,000円
申込方法などの詳細は、Webサイトをご覧ください。

一般財団法人青少年国際交流推進センター　検索

【COVID-19】福島県外国人住民向けサイト開設

福島県では、外国人住民の皆さんのために新型コロナウイルス感染症のサイトを開設しました。多言語での情報サイトや相談窓口へのリンクを掲載しています。ぜひ、ご紹介ください。
http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/covid19-foreign.html

新型コロナウイルス感染症 関連情報ポータル － 福島県　検索

ボランティアをおねがいします！

協会情報紙の袋づめや宛名シール貼りなどの簡単な作業です。はじめての方も大歓迎！1時間～1時間半で終了します。申込不要。どなたでもお気軽にお越しください。
日　時　12月26日（土）　13:30～
場　所　当協会

第294号　2020年 12月号

★会員随時募集中★

会津若松市国際交流協会 情報紙

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

感染症対策として講座やイベントの定員削減、密の回避、消毒薬の設置、換気等を行っています。今後の状況次第では、事業の中止や日程変更の場合もあります。皆さまにはマスクの着用や検温などのご協力をお願いします。

日本語スピーチ　海外からもこんにちは！第12回 にほんごではなそう会

会津在住の外国人住民による日本語スピーチ大会です。約10名の日本語学習者が、日頃の学習の成果を発表します。たくさんの方に聞いていただくことが、学習者の励みになりますので、ぜひ発表を聞きにお越しください。以前に、当協会で日本語を学んだ海外在住の方も、オンラインでスピーチする予定です。発表会後のクイズ大会もお楽しみに！

日　時　12月12日（土）10:00～12:00
場　所　会津稽古堂研修室2.3
参加費　無料　どなたでもお気軽にお越しください。
申込み　不要

オンラインちょい旅　オンラインでGO！ゲーム感覚で楽しむドイツ旅

11月に行って大好評だった「地球ちょい旅ドイツ編」を「Zoom」を使ってオンラインで行います。参加者が簡単な選択肢に答えながら、ゲーム感覚でドイツを観光旅行します。Zoomイベントが初めての方や、遠くにお住まいの方なども、ぜひこの機会に参加してみませんか？

日　時　12月13日（日）13:30～14:30
ガイド　クルーテン 陽子 ナタリーさん（ドイツ出身）
参加費　無料　　参加ツール　Zoom
定　員　15名　（定員になり次第締め切り）
申込み　12月11日（土）までに上記QRコード、もしくはWEBサイトやfacebookから、グーグルフォームでお申し込みください。
申込み者には順次、受付メールとZoomのURLを送付します。
届かない場合は協会までご連絡ください。

世界の手作り体験　Nola's Craft Corner　ノラの手しごとコーナー 第2弾“クリスマス飾り”を作ろう

“ノラの手しごとコーナー”は、物作りが大好きな国際交流員ノラと一緒に、会津や日本、世界のいろいろな“物作り”を体験するコーナーです。待望の第2弾は、“クリスマスボール”と“クリスマススター”の2つです。針と糸は使いません。どちらも簡単ですが、小さなお子様連れの方はご相談ください。

①クリスマスボール

②クリスマススター

日　時　12月19日（土）14:00～15:30
場　所　会津稽古堂1階
美術工芸スタジオ
対　象　小学校高学年以上
参加費　800円（①と②両方で）
※材料費実費を含む
定　員　15名　※定員になり次第締切
申込み　12月17日（木）までに当協会へ

日本語会話教室　自宅で学ぶ　オンラインで学ぶ

外国人住民のための日本語会話教室です。今年は感染症の影響で学びの機会が少なかったことも考慮し、12月から来年3月までの間、オンラインでの日本語会話教室を行います。通常のクラスと同様に、当協会の日本語ボランティアが丁寧に指導します。お知り合いの方に、ぜひお知らせください。日程や支払い方法などの詳細はWebサイトやfacebookをご覧ください。

回　数　12回（60分/1回）
受講料　5,000円（全12回一括払い）
日　時　協会WebサイトやfacebookにあるスケジュールをＣご覧ください。
申込み　当協会へ

今年の皆様のご協力に感謝いたします。来年もよろしくお願いいたします。

年末年始休業のお知らせ：協会事務所は12月28日（月）～1月4日（月）まで年末年始のため休館します。
日本語サロンは12月22日、29日、1月5日、12日はお休みで1月19日（火）からスタートします。

協会の活動の様子をfacebookやインスタグラムでも！

10月31日(土)
ハロウィンオープンハウス！

当日は約70名が協会を訪れました。ゲームのキャラクターの仮装あり、骸骨の仮装の方もいて、賑やかで楽しい交流イベントとなりました。

協会の日頃の活動の様子や写真を、協会facebookやインスタグラムにものせています。ぜひご覧ください。

http://facebook.com/awiajp

AWIA_PHOTO

新着図書

知ってほしい郷土の偉人

世界に誇れる

「会津と茶道の関係は？」外国の方にそう聞かれたら、皆さんどうこたえますか？会津と茶道の歴史を語る上で欠かせない人物、“蒲生氏郷”の伝記漫画と指南書（12ページ）が協会図書コーナーに加わりました。

『戦国人物伝 蒲生氏郷（コミック版日本の歴史）』 加来 耕三（監修），水谷 俊樹（著），中島 健志（著） ポプラ社（出版）

『蒲生氏郷指南書』サムライプロジェクト実行委員会（作成）

元気でパワフル！はじける笑顔が素敵な日本語ボランティアの安部幸子さん。「日本語の美しさや奥深さ、微妙なニュアンスを伝えるのは難しいけれど、学習者が理解して喜んでいる姿を見るのが一番うれしい」そうです。実は、戦国大名・蒲生氏郷（がもう うじさと）の大ファンで、その伝記漫画も読んだという安部さんに、氏郷への熱い思いを寄稿していただきました。

Abe Sachiko

安部 幸子 さん

安部さんに日本語を学ぶ、渡辺クリスティーさんにお聞きしました。
Q. 安部さんはどんな先生ですか？
A.「いつも明るく元気でポジティブな先生です。
たくさん例を出して教えてくれます。
お話していると楽しく幸せな気分になります。」

クリスティーさんと

まずは漫画からでも読んでみて！
男、蒲生氏郷！会津の基礎を作る

とんがり帽子のような銀の鯰尾（なまずお）の兜（かぶと）の蒲生氏郷。会津バスの側面に描かれている氏郷は、きりりとした目のイケメン武将。皆さんもこれを見て「すてき！」と思ったに違いない。私の蒲生氏郷への興味は、このイケメンぶりから入った。名前は知っていたが、会津の観光と言えばどうしても白虎隊が主役。私の中で氏郷はかすんでいた。しかし、たまたま孫がもっていた伝記漫画『戦国人物伝 蒲生氏郷（コミック版日本の歴史）』を読んだことと、たまたま博物館で氏郷をメインとした特別企画展を観る機会が与えられたことで、私は彼にぞっこんになってしまった。

とにかく、蒲生氏郷は男の中の男なのだ。織田信長に人質とされていた氏郷だが、卑屈になることのない堂々たる人質ぶり。すぐに信長に見いだされ、智・弁・勇の三徳を備えた最高の武士に育っていった。漫画の解説によれば、「信長は氏郷の戦場における勇猛果敢（ゆうもうかかん）さ、聡明さ、弁舌のさわやかさ、わけても鋭敏な美的センスに、己と等しい価値観を見いだした」とある。この一文だけでも私は背筋がぞくぞくした。

戦が強いだけなら、ただの武骨者で終わるが氏郷は違う。氏郷は、軍規をしっかり整え兵をまとめ上げ戦に勝った。民のためには、経済発展の為に城下を整え地場産業を盛んにした。これは、民に豊かさと活気を与えたいと思う氏郷の優しさに他ならないし、智略であると思う。また、茶道に精通し、千利休七大弟子の一人でもある文化人でもある。すべてきちんと整えるという「美」が彼の土台にあるように思える。また、上杉、伊達、徳川への抑えとして、天下人秀吉から会津を任された時は、「奉公構（ほうこうかまえ）」という条件を突き出し、かつて主君の怒りをかった牢人たちの召し抱えに成功した。男、氏郷の人の掌握（しょうあく）のうまさが垣間見え、任侠（にんきょう）映画の親分みたいでかっこいい。

氏郷は信長の恩と美学を生涯忘れることなく、人を大切にしながら各城下を発展させた。氏郷のおかげで、今の会津がある。会津の基礎は氏郷が作ったのだ。この男気あふれる氏郷に、信長の娘冬姫（妻）のみならず皆がついてゆきたくなる。現代にも氏郷のような気骨ある、大胆な発想と行動力、そして優しさが求められているのではあるまいか。

銀の鯰尾の兜は今も輝きを失わない！

茶道では11月に囲炉裏(いろり)を開く“炉開（ろびら）き”を行う

Isabella Keenan

イザベラ キーナンさん の

My Aizu from My Eyes

オーストラリアのメルボルン出身、いつもエレガントで、誰にでも丁寧に接するイザベラさん。幼い頃からアフタヌーンティー（※1）に親しんできたイザベラさんが、会津で出会ったのは“茶道”でした。アフタヌーンティーも茶道も、“大切な人と大切な時を分かち合う”という点では同じです。今回は、茶道を通じて素敵な先生や仲間と良い時間を分かち合っているイザベラさんの“My Aizu”です。

※1.アフタヌーンティー（Afternoon tea）とは、英国発祥の午後3時～5時頃に紅茶と一緒に軽食やお菓子を食べる習慣。食器や飾る花、会話や作法にこだわることもある。

アフタヌーンティーはイザベラさんにとって、家族や友人と過ごす大切な時間。

～アフタヌーンティーで育ち、茶の湯を学ぶ～
“茶道”は私の一番大切な日本文化

初めまして。イザベラ・キーナンと申します。会津若松市に住んで1年半になります。
英語の講師をしており、人とおしゃべりするのが大好きです。
学生時代には日本語とイタリア語を専攻しました。趣味は旅行、執筆、そして茶道です。

会津若松市に引っ越してすぐに、友人が茶道のお稽古（けいこ）に誘ってくれました。お茶がずっと大好きで、子どもの頃から祖母の家での“アフタヌーンティー ”に参加していた私にとって、これは運命の出会いのようでした。お稽古は昨年の6月から始めました。初めは、たくさん間違えました。初日のお稽古では靴下を履（は）いて行かず、「畳（たたみ）の上では靴下を履くものですよ」と注意されました。日本語での教えがよくわからなかったのです。その後は、友達に通訳をお願いすることにしました。今では、先生の教えをより理解できるようになりました。

茶道のお抹茶の点（た）て方は大きく分けて二種類あります。薄茶（うすちゃ）と濃茶（こいちゃ）です。薄茶と濃茶では、お点前（てまえ）（※2）やお道具も違います。 お点前の種類は季節によっても異なります。十月にちょうど中置（なかおき）（※3）というお点前を習い終えたばかりです。これは10月のお点前で、お客様が寒い時期に温まれるように風炉（ふろ）（※4）を近くにおきます。11月のイベントは炉開（ろびら）きです。先生が黒豆のぜんざいを作ってきてくれ、私は着物で濃茶を出しました。わくわくしましたが、ちょっと緊張もしました。

茶道の一番好きな点は、先生や友達と一緒に抹茶をいただけることです。オーストラリアでも家族とお茶を飲んだり話したりします。茶道のお稽古をしていると、ここ日本にも家族がいるような気分になります。先生は私がコロナ禍でストレスを感じている時、とてもいたわってくれました。私を元気づけるために、ランチやお出かけに連れて行ってくれました。よく一緒に裏磐梯や下郷にも行きます。

私は、茶道を通してたくさんの日本文化を体験してきました。中でも一番の思い出は、昨年10月の鶴ヶ城大茶会（※5）に参加したことです。おしゃれをして友達と出かけ、たくさんお菓子を食べました。茶道にはさまざまな家元があることを知り、サムライや藩主（はんしゅ）が馬に乗りながらお茶を飲んだことも聞きました。友達と鶴ヶ城稲荷神社で参拝（さんぱい）し、おみくじで大吉を引きました！その後、ハードオフ(中古品店)に買い物に行きました。そこで古着の着物を見つけ、なんと半額で買うことができたのです！本当に幸せな一日でした。

茶道は私が日本で経験した一番大切な日本文化です。いつかぜひ、みなさんと“茶道”を分かち合いたいです。

※2.お点前（てまえ）とは、茶道で抹茶を点てる一連の所作（作法・流れ）のこと。
※3.中置（なかおき）とは、客に釜を近づける事で暖かみを感じていただくための点前。
※4.風炉（ふろ）とは、持ち運びのできる炉。夏にもちいる。
※5.鶴ヶ城大茶会は、秋の鶴ヶ城で行われる会津最大級の茶会。千利休の子少庵と蒲生氏郷の遺徳をしのび開催される。当日は会津各流派のお点前によるお茶がいただける。（2020年度は中止）